



冬*無制限貸出

冊数：無制限

返却日：1月12日(金)

12月4日から
冬期貸出
スタート



3年貸出1月末まで

借りられるのは1月末まで、返却は2月の离校日まで。但し、小論や後期対策に必要な人は遠慮なく利用を。



知恵で平和を

奄美の日本復帰70周年が、島内随所でとりあげられています。そこで大高の書庫にある関連図書も展示します。昇さんの無血交渉など、ぜひ、歴史を知って、活かして欲しいものです。

- 奄美群島日本復帰運動
- 命がけの密航
- 奄美大島復帰運動回顧録
- 奄美復帰史
- あれから50年-復帰世代から子や孫へ



それぞれの好きや得意で、社会を支えてね



届いています
先輩方の
熱き想い!

母校に貢献したい、後輩に奄美を知って欲しい、そんな思いの寄贈の数々

寄贈目録(一部)

奄美関係の本

『奄美の歌かけ』

『島唄の風景』

『奄美島唄集成』

『輝く奄美の島唄』

『民謡の島の生活誌』

『奄美 静寂と怒濤の島』

『南島雑話の世界』

『奄美今昔よもやま話』



島尾敏雄関係の本

『島尾敏雄全集』

『月下の渦潮』

『星の棲む島』島尾伸三(子息)

大島高校卒・小説家

出水沢藍子の本

『マブリの島』

(短編集。南日本文学賞受賞「グンセイフの夜」収載)

『箴(おさ)音は止まらず』

~藤都喜工門の生涯~
(昭和、白大島で一世を風靡した都喜工門の奮闘記)

『何もいらぬ』

~歩き続けた画家
保忠藏の足跡~
(子ども図書館“放浪館”に展示されている、奄美の龍郷出身の画家・保忠藏の絵描き人生)

大高生ならこれぐらい知っとこ

島尾敏雄



小説家。兵庫県生まれ。昭和19年、27歳の時に奄美の加計呂麻島に震洋隊の隊長として赴任してきた。そこで知り合ったミホとやがて結婚し、執筆をしつつ、兵庫で教授、東京で講師などするが、妻の病氣療養のため、奄美大島に戻って暮らすことになった。



一時期、大島高校で教えていたことがある。奄美図書館の館長を昭和33年(1958年)から昭和50年(1975年)まで務めた。



代表作品は映画化された『死の棘』、他『魚雷艇学生』『日の移ろい』など。文学賞をいくつか受賞している。小説以外にも対談集『ヤポネシア考』が有名。

更なる知識は「島尾」コーナーで!!

新着図書



書影はイメージです

**凧として
弓を引く**
碧野圭

軽く読めて、凧と背筋の伸びる青春小説。

凧として
弓を引く
碧野圭

**人間みたいに
生きている**
佐原ひかり

食に嫌悪感を持つ女子高生の居場所とは。人間みたいに生きている

キリエのうた
岩井俊二

キリエは歌うことだし、か“声”を出せない。映画も小説も共に。

**ぼくだけの
ぶちまけ日記**
ニールセン

兄の事件の後の、家族の叫びと希望を描く。

ぼくだけの
ぶちまけ日記
ニールセン

小説	
おまえなんかに会いたくない	乾ルカ
雲は湧き、光あふれて	須賀しのぶ
なれのはて	加藤シゲア
希望病棟	垣内美雨
後悔病棟	垣内美雨
殺人鬼フジコの衝動	真梨幸子
すべて忘れてしまうから	燃え殻
人間みたいに生きている	佐原ひかり
炎上する君	西加奈子
世界は「」で満ちている	櫻いいよ
5分後にゾツとするラスト	櫻いいよ
絵物語動物農場	オーエル

分野いろいろ
悪口ってなんだろう
3年間ホケツだった僕がドイツでサッカー指導者になった話
もしChatGPTが文豪や〇〇としてカップ焼きそばの作り方などを書いたら
こんなに使える経済学 肥満から出世まで
ふるさと奄美群島写真集
古武術に学ぶ体の使い方
日本の問題を哲学で解決する12章
不条理を乗り越える 希望の哲学
原発ゼロ社会への道

3年生の
英語授業

深めてみよう

手島先生の
土ゼミ

幸せな子

～アウシュビッツを一人で
生き抜いた少年～
トマス・バーゲンソール 他2名

最後まで諦めないこと、ホロコーストの場で問われる人間の勇気や倫理観など、心に刺さるものの多い、感動の実話。

ジョージ・オーエルの本 一九八四

謎の指導者が支配する全体主義社会でスミスは、自分の考えをノートに書くという禁忌を犯し…。

動物農場

人間に虐げられてきた動物たちが自由と平等の理想を掲げ運命に立ち向かうが

味見は
いかが？



新書から

『言語の本質』

今井むつみ

オノマトメベから言語が複雑化し、それを助けたのは人間の持つ仮説を立てる力ではないか!? 詳細に証明していくこの新しい言語成立説をあなたはどうかジャッジする？

小説から

『環司先生の

謎解き辞典』

皆藤黒助

「私たちは、多かれ少なかれ漢字を操り生きている」。漢字を手がかりに日常の謎を解いていくライトな学園ミステリー。